



下鶴間つきみ野地区で初めてのミニサロンとして「遊友会」が誕生し、今年で20年目になります。高齢者を中心とした地域交流の場として、体操、バス旅行などいろいろな行事を楽しんでまいりましたが、この2月以降、突然新型コロナの影響で、集会による活動ができなくなりました。そこで、ボランティアが会員の皆様に時々「コロナ見舞」の電話をしています。「外出自粛!」「マスク着用!」「人と会わない!」、いつの間にか訳の分からない生活を余儀なくされることになりましたが、電話なら大丈夫。「戸惑うことが多いけど、がんばる」という元気な声をたくさん聞かせていただきました。長年の活動で育まれた信頼関係を大切に、「Withコロナ」の時代にふさわしいミニサロンを目指してまいります。



**私の健康法** 健康のATM「明るく楽しく前向きに」  
オハナ鶴間 ちょうの よしろう ガーデニア 長野 芳三さん

新潟市に生まれ、横浜市旭区から移住し約57年78歳になります。横浜在住当時は市の福祉五か年計画の一環で二俣川ニュータウン人口1万4千人、4千戸95%が戸建ての環境で「チョコット支援隊」という要生活支援者を対象のボランティア活動(草取り、剪定、ガラス拭き他30種類の作業)を約5年間しながら健康を維持してきました。現在は狭心症、脊柱管狭窄症のため散歩を中心に十数種類のストレッチで体調を整えています。特に健康に意識していることは、精神面の安定、ストレスを抱えないことで免疫も上がり、心配事等はその日のうちに処理するよう努めています。「まあいい笑顔と言葉と心」をモットーに。

今の趣味は、10年前から本格的に始めたマジックです。見て、知って、演じて、上達して、拍手で、新演目の挑戦で、新しい場所で友人ができる楽しさ、知らないところに入っていきける楽しさ、演出や構成を楽しめる。メリットとしては、手・指を使い、演じ方を考えて脳の活性化、目標ができる、コミュニケーションにプラス、人前に出ることに自信がつき、苦にならない、地域への貢献=ボランティア→生きがいにつながる。活動先は、老人会、サロン、各福祉施設、子供会、学校等です。またシリーズで毎月1回第3木曜日初心者に講師をしています。ご希望があれば、どこでも参ります。

**愛の小箱** 2019年度は、総額70,134円集まりました

「愛の小箱」設置協力店 (順不同・敬称略)

榎本商店	花物語やまと	つきみ野自治会館
山金商店	公所コミセン	中華キッチン彩々
村岡商店	下鶴間コミセン	不二家レストラン
NOOK	美容室たんぽぽ	クリーニングコクエ
下鶴間郵便局	雀荘ちょんぼ	大和外科内科クリニック

ご寄附いただいた皆様、協力店様ありがとうございました。いただいた浄財は地区社協の事業や様々な活動に活用されており、地域の皆様に喜ばれています。これからもご協力よろしくお願ひします。

**編集後記**

昨年末に中国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症は、今年春先から日本にも飛び火し、4~5月には大流行しました。一時期出されていた非常事態宣言は解除されましたが、その後も若者中心に増減を繰り返し、学校の夏休みは短縮され、花火大会は中止。地域の夏祭りも中止と異例の夏を迎えています。コロナと付き合い新しい生活様式が提唱され、前と同じ生活には戻れなくなりました。「災害はいつか来る」とは言われていましたが、感染症は念頭にありませんでした。のど元過ぎれば忘れるのではなく、これからの新しい生活、次の災害への備えに努めたいものです。(イラストは坂上の夢耕作氏によるものです)

**インフォメーション**

**新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、生活資金でお悩みの皆様へ~生活福祉資金特例貸付~**

現在、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、生活資金でお悩みの皆様へ「新型コロナウイルスの影響により収入が減少した」「正社員として就職したいが上手くない」「税金や公共料金の支払いが遅れがち」等、生活上のお困りごとについて一度相談してみませんか?

「自立相談窓口」(市社協生活支援課内)  
市役所第2分庁舎(鶴間1-25-15) 電話 200-6177  
<http://www.yamato-shakyo.or.jp/archives/4450>参照

社協のマークです



福祉の心を育てよう

下鶴間つきみ野地区社協だより

おりづる

発行兼編集

大和市下鶴間つきみ野地区  
社会福祉協議会  
会長 濱田 和博  
事務所  
大和市下鶴間2516-2  
大和市コミュニティセンター  
下鶴間会館内  
電話 (046)276-3407

**新型コロナ感染症下での新しい地区社協活動のあり方を目指して**

下鶴間つきみ野地区社会福祉協議会

会長 濱田 和博

2月中旬からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い日常生活が一変。100年に一度と言われる「疫病」の大流行に、すべての人々が未経験の戸惑う日々を過ごしてきました。東京オリンピックの延期や多くのイベントが中止になり、外出自粛のかつてない生活が続きました。このような中、医療機関や福祉施設の現場で働く人々の献身的な姿、危険を顧みない姿勢には、心打たれました。

3月末に予定しておりましたお花見会が中止。5月の理事会・評議員会を見合わせ、来年度予算や事業計画についても書面による審議となりました。また、ミニサロンや個別支援などの事業活動も感染防止のため自粛となりました。それでも、ミニサロンの参加者にボランティアの方々が電話して、コミュニケーションを取るなどのサポートを行いました。ふれあい訪問の必要な方には、直接お会いしないでインターフォン越しに会話するなどして、声かけ、見守りを行いました。

7月からは、市社協からのまん延防止のための「ふれあいネットワーク事業運営ガイドライン」が示され、少しずつではありますが皆様の健康面に気をつけ活動を開始しました。

今後、新型コロナウイルス感染症との付き合い、新たな生活様式に向き合いながら、共に支え合う地域をつくることを大切にして活動してまいります。



地区社協役員もみんなマスク着用

**地区社協ってなあに?**

**地区社協の主な事業**



**登校支援**

登校支援とは、児童生徒ひとりでは様々の事情により登校できないためにボランティアと一緒に付き添う支援です。当地区社協では、平成26年度から市社協ボランティアセンターからの要請を受け始めました。最初の支援は養護学校に通う子どものためお母さんに代わって何人かのボランティアが毎朝順番をくみ、車椅子を押しながら養護学校のバス停留所までの登校を支援するものでした。これは地区社協としてあらた

な個別支援事業でしたので、地域の方に、毎朝の登校支援可能なボランティアを募り、ご応募いただいた方々により令和元年度まで行われました。

現在は、市内市立小学校への登校支援を毎週定められた曜日に行う支援と放課後に行われております児童保育の送迎支援を行っております。このように登校支援は、当地区社協でいくつかある個別支援の事業に位置付け、活動しております。

## 2020年の事業方針(抜粋)と重要な取り組みについて

当地区社協は、共に支え合う福祉のまちづくりのため、多くの関係団体やボランティアの協力により地域福祉の一翼を担ってきました。国においても「地域共生社会の実現に向けて、地域福祉の推進の理念(我が事・丸ごと)」を明記した社会福祉法改正が行われ、介護保険制度改革による地域包括ケアシステムの構築、新たな総合事業の実施などが推進されています。このような中で、これまで当地区社協が行ってきた「ミニサロン事業」や「ふれあい訪問事業」、「個別支援活動」など、住民どうしの支え合い活動の重要性はより高まってきています。生活支援体制整備事業(協議体の推進)に基づく拠点整備や、誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくりのため、地域福祉推進の原動力として事業の発展を図ってまいります。

### 2019年度予算と2020年度予算

収入面では、一般会員会費の減による市社協会費還元金や市社協助成金の減少があり、繰越金は増加したものの収入合計は前年を下回りました。支出面では事業費への影響はなるべく少なくなるよう配慮しました。

(単位:円)

収入	2019年度予算	2020年度予算
市社協助成金・市補助金	1,406,000	1,388,600
市社協会費還元金	930,000	900,000
収益金・雑収入・負担金	210,000	210,000
寄付金収入	50,000	50,000
前年度繰越金	791,611	818,000
収入合計	3,387,611	3,366,600

(単位:円)

支出	2019年度予算	2020年度予算
事業費	1,886,000	1,883,600
広報・研修・調査費	140,000	140,000
事務・会議・交際費	413,000	393,000
助成金(民児協・自治会)	300,000	300,000
積立金	200,000	200,000
雑費・予備費	448,611	450,000
支出合計	3,387,611	3,366,600

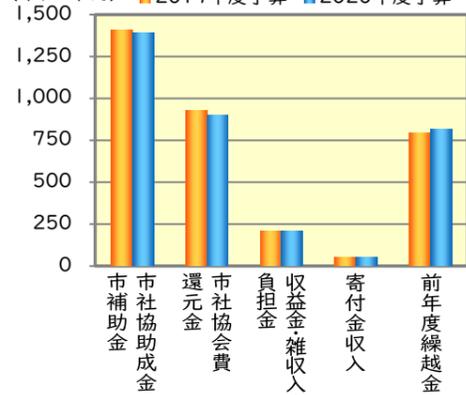
(単位:円)

支出(事業費内訳)	2019年度予算	2020年度予算
高齢者事業費	1,486,000	1,478,600
障がい者事業費	40,000	40,000
児童事業費	75,000	80,000
地域交流事業費	35,000	35,000
ボランティア活動費	100,000	100,000
賀詞交歓会費	150,000	150,000



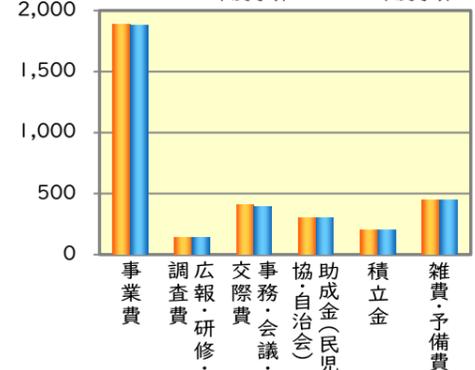
### 収入

(単位:千円) ■ 2019年度予算 ■ 2020年度予算



### 支出

(単位:千円) ■ 2019年度予算 ■ 2020年度予算



## 地区社協からの話題・でんごん板

### 手作りマスクの販売を行っています

市社協で、ボランティアによる手作りマスクの販売を行っています。1枚100~300円で各種あります。売り上げは地域福祉活動へ活用させていただきます。次の感染爆発に向け、自分と大切な人を守るためにいかがでしょうか。

販売は、大和市保健福祉センター4階や大和下鶴間郵便局などで行っています。販売場所の詳細は大和市社協ホームページをご覧ください。

- 善意銀行(市社協総務課) 電話 260-5633
- ボランティアセンター 電話 260-5643



### 私とボランティア

### 私の得意なことでお手伝い

長堀 佐藤 忠子さん

私の最初のボランティアは、老人ホームにデイサービスで来られる方たちの麻雀のお相手でした。並べくらいしか出来ない私でしたが、何とか役に立ったみたいです。その次に成人式の会場で、着物のお直しをボランティアで始めました。もう十年以上続けていますが、直してきれいにすると、皆さん喜んでくれます。「おばちゃんありがとう」とハグしてくれる子もいて、「ああ良かった」と嬉しくなります。また、毎年8月に開催する子ども相撲大会の行司さんに着付けをして、着崩れしないと喜ばれています。

民生委員の頃、地区の色々な催しのお手伝いをさせていただき、多くの方からありがとうと言われると、つい嬉しくなってそれ以上のことをしてしまい、かえって迷惑をかけたこともありました。

この度のコロナ騒動では、仲間とマスクを作り、老人ホームや施設、保育園等に届けています。これからは、少し控えめなボランティアの一員として頑張りますので、どうぞよろしく願いいたします。



## 1年間の事業・行事の開催について

スケジュールは中止、あるいは変更になる可能性があります

### 4月

- お花見会 ..... 3/30  
今年は、新型コロナウイルス感染症対応のため、中止になりました。

### 5・6・7月

- 理事会 ..... 中止
- 評議員会 ..... 5/22  
今年は、新型コロナウイルス感染症対応のため、書面審議となりました。

### 8・9月

- おりづる76号の発行 ..... 8/15
- ボランティアの集い ..... 9月

### 10・11月 今年度は中止になりました

- 福祉バザー ..... 10月
- 地区社協子どもまつり ..... 10月
- お芋ほり ..... 11/10雨天の場合は11/12
- 敬老の集い ..... 11/11  
中止になりました。

### 12・1・2・3月

- 年末たすけあい街頭募金 ..... 12月
- 賀詞交歓会 ..... 1月
- おりづる77号の発行 ..... 3/15
- 「愛の小箱」の回収

### 4~3月通年

- ふれあい訪問の実施  
ひとり暮らし高齢者等を定期的に訪問し、見守り、安否確認、介護予防につなげていくものです。
- ミニサロンの開催
- 個別支援活動  
高齢者世帯・障がい者世帯の生活のなかでの困り事の支援をするものです。